

## □プロ野球阪神タイガース選手による人権啓発メッセージ

令和2年度の人権週間の啓発活動において、プロ野球阪神阪神タイガース選手から人権啓発のメッセージをいただきました。

尼崎人権啓発活動地域ネットワーク協議会では、人権週間街頭啓発に際して、阪神タイガース球団のご協力により、若手有望選手を一日人権擁護委員として派遣してもらうことが、ここ20年来の恒例となっており、最近では、青柳晃洋選手、小野泰己選手、高橋遥人選手に参加していただいています。

令和2年度は、コロナウイルス感染症対策のため、街頭啓発活動を見合わせることとなりましたが、阪神タイガース選手からいただいた人権啓発のメッセージを多くの方々に届けていくことにより、人権の大切さを訴えていきたいと考えています。



### ■梅野隆太郎選手 いじめ問題に対するメッセージ

いじめは、特定の人だけの問題ではなく、誰にでも起こりうるものです。

僕が日頃野球をするうえで大切にしているのは、バッテリーを組むピッチャーの気持ちを考えたり、チームメイトが今どういう思いを持ってプレーをしているのかを考えることです。

「相手の気持ちを考える」ことは、野球でも、日頃友人と生活するうえでも一番大切なことだと思います。相手の気持ちを考えて、思いやりの心を忘れずに、いじめのない社会にしていきたいと思います！



### ■木浪聖也選手 障がい者差別問題に対するメッセージ

みなさんの周りには、さまざまな人が暮らしています。

その中には障がいのある人もいますが、決して特別な存在ではありません。

障がいが理由で理不尽な対応をされた、チャンスを得られなかった、いじめられたなど、様々な差別に関する問題を僕もニュースなどで目にしてきました。

僕自身もそうですが、一人ひとりが障がいの理解を深め、お互いに助け合い、誰もが暮らしやすい豊かな社会つくっていきましょう！



## ■近本光司選手 インターネット（SNS）問題に対するメッセージ

インターネット（SNS）は自分のメッセージを発信したり，たくさんのファンの方々から応援メッセージをいただいたり，僕にとって力を与えてくれるツールです。

しかし時には厳しいご意見や，辛辣なメッセージを目にすることもあります。

そういった問題をニュースでもよく目にするようになりましたが，インターネット（SNS）は使い方を間違えると人を傷つける道具にもなってしまいます。

そのメッセージを受け取った相手の気持ちもしっかり考えて，インターネットを利用するようにしましょう！

## □人権の花運動

尼崎人権啓発活動地域ネットワーク協議会では，尼崎市内の中学校，小学校及び幼稚園を対象として，人権の花運動を実施しています。

人権の花運動は，花の種子，球根などを，生徒，児童及び園児が協力し合って育てることを通じて，協力，感謝することの大切さを生きた教育として学び，生命の尊さを実感する中で，人権尊重思想を育み，情操をより豊かなものにするを目的として実施しています。

令和3年度は，大庄北中学校，塚口中学校，明城小学校，潮小学校，武庫庄小学校，園田東小学校及び園田幼稚園の6校1園で人権の花運動を実施していただいています。



## □人権教室

人権教室は、人権擁護委員が学校等に出向き、「総合的な学習の時間」等を利用して、様々な人権啓発教材を活用して子どもたちに優しさや思いやりの心の大切さを直接語りかけることにより、子どもたちの豊かな人権感覚の醸成を図り、「いじめ」等の問題の起きない社会の実現を目的として、毎年、尼崎市内のいくつかの小・中学校や幼稚園において実施しています。

— 「ありがとう」と「ごめんなさい」 —

この魔法のことばをみんなが使えば誰もが笑顔  
子どもたちの未来に幸あれ！

